

ロービジョン サポートフェア 2026 夏

主催：認定 NPO 法人 神戸アイライト協会

後援：公益財団法人 中山視覚福祉財団

2026年7月25日(土) 13:30~16:00

◆場所：中山記念会館 1階大会議室（神戸市兵庫区水木通2丁目1-9）

◆参加無料

◆定員：60名（事前予約制）

事前に氏名（介助者含む）、連絡先を電話またはメールでご連絡ください

◇第1部 講演「同行援護の未来をつくる
— 現場・人・テクノロジーをつなぐこれから —」

講師：株式会社 mitsuki 代表取締役 ^{たかはし まさき} 高橋 昌希 氏

◇第2部 シンポジウム「みんなでつくる同行援護の未来」

シンポジスト：

株式会社 mitsuki 代表取締役 ^{たかはし まさき} 高橋 昌希 氏

株式会社シリウス 神戸エリア統括 ガイドヘルパー ^{なかの ゆか} 中野 由香 氏

福祉事業所あしたば ^{おかもと のぼる} 岡本 昇 氏

同行援護利用者 ^{やまだ まき} 山田 真希 氏

コーディネーター：

神戸アイライト協会 歩行訓練士 ^{すみよし はづき} 住吉 葉月

※状況により内容が変更になる場合があります。

◆お申し込み・お問い合わせ先：神戸アイライト協会

電話：078-531-6340（火曜から土曜 10時~16時）

<https://eyelight.eek.jp/>

mail：kobe2010@eyelight.sakura.ne.jp



みなさんは、「同行援護」を知っていますか？

同行援護は、私たち視覚障害者の外出や社会参加を支えてくれる大切なサービスです。

買い物や通院だけでなく、趣味を楽しんだり、働いたり、自分らしく地域で暮らしていくためにも欠かせない存在です。

「名前は聞いたことがあるけれど、どうやって使うの？」

「利用したいけれどヘルパーさんが見つからなかったら…」

そんな不安や疑問を感じている方も多いのではないのでしょうか。

実際、同行援護を行う事業所やヘルパーはまだ少なく、利用したくても十分に使えないという声もあります。

今回のイベントでは、同行援護の現状や課題、そしてこれからについて、みなさんと一緒に考えます。第1部では講演、第2部ではシンポジウムを開催し、事業所や利用者それぞれの立場から、「同行援護をどう守り、育てていくか」について語り合います。

もっと自由に外出したい、自分らしく地域で暮らしたい——そんな思いを支える同行援護について、一緒に考えてみませんか？

高橋 昌希(たかはし まさき)氏 プロフィール

株式会社 mitsuki 代表取締役。

香川県出身。広島大学教育学部卒業後、国立障害者リハビリテーションセンター学院にて視覚障害リハビリテーションを学ぶ。

日本赤十字社神奈川県ライトセンターで視覚障害者の生活訓練や相談支援に従事した後、2018年に株式会社 mitsuki を設立。

現在は同行援護事業所「みつき」の運営をはじめ、視覚障害に関する情報を発信するWebメディア「Spotlite」、同行援護事業所向け業務支援システム「おでかけくん」の開発・運営などを通じて、視覚障害者の外出や社会参加を支援。

「見え方の違いが活きる社会」の実現を目指し、福祉とテクノロジーを掛け合わせた取り組みを展開している。

◆交通アクセス:

神戸高速鉄道「新開地駅」西改札より徒歩8分(2号または4号出入口 階段)

市営地下鉄「湊川公園駅」西改札より徒歩10分(西出口2 階段・エレベータ)

